

クレーン倒れ 住宅損壊、車両下敷き

アウトリガーが鉄板からはみ出した状態だった

「これでも大丈夫だろうと思い作業を行ってしまった」

「慣れによる不注意だった」

ユニック作業時は
地盤の水平確認と
アウトリガー下に「敷板」の設置

吊り荷の重さを確認しましょう

下水道工事中のクレーン車が倒れる 住宅2棟損壊 車両1台下敷きに

アウトリガーが鉄板からはみ出した状態
1か所に重みがかかって地面が崩れ、横転した

2024/8/6(火)

6日午後、神奈川県で、下水道工事を行っていたクレーン車が倒れ、車1台が下敷きになったほか、住宅2棟の屋根や外壁などを壊しました。けが人はいませんでした。

工事を発注していた市などによりますと、通常、クレーン車の下には車両の重みを分散させるため鉄板を敷いていますが、事故の際にはクレーン車が鉄板からはみ出した状態になっていて、1か所に重みがかかって地面が崩れ、横転したということです。

工事を請け負っていた事業者は市に対し、「これでも大丈夫だろうと思い作業を行ってしまった。慣れによる不注意だった」と話しているということです。市は工事を一時中断し、作業の点検や安全計画の見直しなどを行うとしています。